研究実施のお知らせ

2026 年 7 月 18 日 ver.1.0

研究課題名

年齢、角膜生体力学および角膜形状が異なる測定原理を有する眼圧計間の測定差に与える影響に関する後方視的観察研究

研究の対象となる方

2019 年 5 月から 2026 年 6 月の間に島根大学医学部附属病院で緑内障外来を受診し、各種眼科検査を受けられた方

研究の目的・意義

眼圧は、緑内障の診断や治療、経過観察において重要な指標です。眼圧を測る機器には、角膜に小さなプローブを当てて測る方法、空気を当てて測る方法、角膜を一定の面積だけ平らにして測る方法などがあり、測定の仕組みが異なります。そのため、同じ目を測っても機器によって測定値が異なることがあります。

この研究では、年齢、角膜の硬さや変形から元に戻る性質、角膜の厚さ・曲がり方・乱視などが、異なる眼圧計の測定値の差にどのように関係するかを調べます。測定値がずれやすい方の特徴が分かれば、眼圧の結果をより適切に解釈し、緑内障診療に役立てられる可能性があります。

研究の方法

この研究では、新たな検査や治療は行わず、診療のために既に記録されている電子カルテ情報および検査機器に保存された測定結果を利用します。

利用する主な情報は、年齢、性別、診断名、視力、各種眼圧計による眼圧値、角膜の変形しやすさや抵抗性を示す指標、角膜の厚さ、角膜の曲がり方、角膜乱視などです。

各眼圧計の測定値の差を計算し、年齢や角膜の性質との関係を統計学的に調べます。予定対象者数は 1000 例です。

研究で使用するデータには研究用の番号を付け、氏名や患者番号など、個人を直接識別できる情報を解析用データから削除します。研究用番号と患者さんを対応させる一覧表は、解析用データとは別に厳重に保管します。情報を他の研究機関や外国へ提供する予定はありません。

研究の期間

2026 年 10 月 15 日から 2028 年 9 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：
島根大学医学部附属病院眼科　　医科医員・髙木啓伍

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。
利用停止のお申し出はいつでも可能です。ただし，結果の公表を行った後は，情報を削除することができず，ご要望に沿えません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：
島根大学医学部眼科学講座・医科医員　髙木啓伍
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話　0853-20-2284